

# 令和2年度 決算

町議会9月定例会  
で認定されました  
「令和2年度決算」  
の概要をお知らせし  
ます。

## 一般会計

### 歳入

歳入 69億3,983万6千円  
(前年度比  
12億7,306万7千円増)

歳入は、前年度と比較して約12億7千  
万円の増となりました。新型コロナウイルス  
感染症拡大への対応として、特別定額  
給付金に関する国庫補助金7億5千万円、  
新型コロナウイルス感染症対応地方創生  
臨時交付金3億2千万円などにより、国  
庫支出金が対前年度11億2千万円増（3  
24.4%増）となったことが主な要因  
となりました。

町税は約9億3千万円で前年度比0.  
2%の増でした。歳入の41%を占める地  
方交付税は28億6千万円。地域社会再生  
のための費用が上積みされたため前年度  
決算より3.7%増えました。町債は3

億8千万円。富沢小学校プールと道路整  
備のための借入れが主な内容で、前年  
度より9.7%増となりました。

### 歳出

歳出 62億9,165万円  
(前年度比  
11億9,342万円増)

歳出は、前年度と比較して約11億9千  
万円の増となりました。歳出も歳入同様  
新型コロナウイルス感染症対策費が主たる  
増要因でした。

増加幅が最も大きかったのは補助費等  
で、一人に10万円を給付する特別定額給  
付金事業に7億5千万円、ふるさと支援  
がんばろう商品券事業に1億4千万円を  
支出し、決算額は15億5千万円となり、  
前年度比137.3%の増となりました。  
また、水道料の減免で住民生活を支援す  
るため、簡易水道事業特別会計に6千万  
円を繰り出した結果、繰出金が18.6%  
増えました。投資的経費である普通建設  
事業費は、富沢小学校プール整備や道路・  
橋りょう整備、新型コロナウイルス感染  
症対策のための施設改修事業、中学校  
の情報ネットワーク施設整備事業などで、  
決算額は8億9千万円となり、前年度よ  
り4.3%増となりました。なお、町債  
償還（町の借金返済）にあたる公債費は  
6億6千万円で、前年度より5.3%減  
となりました。

## ●一般会計の決算状況

(単位：千円)

区 分	歳 入	歳 出	差 引	翌年度への 繰越財源	実 質 収 支
令和2年度	6,939,836	6,291,650	648,186	68,693	579,493
令和元年度	5,666,769	5,098,230	568,539	18,293	550,246

### 【歳入の内訳】

(単位：千円)

町 税	930,674
地方交付税	2,860,507
国庫支出金	1,467,434
県 支 出 金	204,262
町 債	381,600
そ の 他	1,095,359
合 計	<b>6,939,836</b>

### 【歳出の内訳】

(単位：千円)

義務的経費	人 件 費	962,960
	扶 助 費	419,939
	公 債 費	659,286
投資的経費	普通建設事業費	893,435
	災害復旧事業費	6,201
その他経費	物 件 費	634,410
	補 助 費 等	1,553,959
	繰 出 金	678,664
	そ の 他	482,796
合 計		<b>6,291,650</b>

## ●特別会計の決算状況

(単位：千円)

区 分		歳 入	歳 出	翌年度への繰越財源	実質収支
簡易水道事業		380,654	350,530		30,124
指定居宅サービス		77,041	71,883		5,158
国民健康保険	事業勘定	1,016,054	965,509		50,545
	直営南部診療	108,833	87,107		21,726
	直営万沢診療	62,141	48,820		13,321
介護保険		1,144,171	1,090,167		54,004
後期高齢者医療		234,291	231,064		3,227
睦合財産区		363	198		165
富沢財産区		1,064	830		234
大城平外二山財産区		387	283		104
大日向外三山財産区		155	121		34

町には、一般会計のほかに9つの特別会計があります。これらを合計すると、歳入総額は30億2千万円、歳出総額は28億4千万円になります。決算額は次のとおりです。

### 特別会計

## ●4つの健全化判断比率

(単位：%)

区 分	南部町比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—	20.0	30.0
実質公債費比率	2.2	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字が生じていないため、また、将来負担比率は、将来負担額がないため「—」で表記

実質赤字比率…町の収入に対する一般会計などの赤字割合

連結実質赤字比率…町の収入に対する全会計の赤字割合

実質公債費比率…町の収入に対する借金返済額の割合

将来負担比率…町の収入に対する将来的に負担が見込まれる負債の割合

「地方自治体の財政の健全化に関する法律」の規定により、令和2年度決算に基づく4つの健全化判断比率と公営企業の資金不足比率を算出しました。

令和2年度は、いずれの指標も財政上の黄信号を表す「早期健全化基準」を下回り、健全性が保たれていることを示しています。

### 南部町の財政の健全性を示す5つの指標

## ●資金不足比率

(単位：%)

特別会計名	南部町比率	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	—	20.0

※資金不足比率は、資金不足が生じていないため「—」で表記

町は、行財政改革を通して財源の確保に努めながら、安心して生活できる町づくりに取り組んでいます。町の財政状況はホームページでも紹介しています。ぜひご覧ください。